

令和 6 年度 学校評価

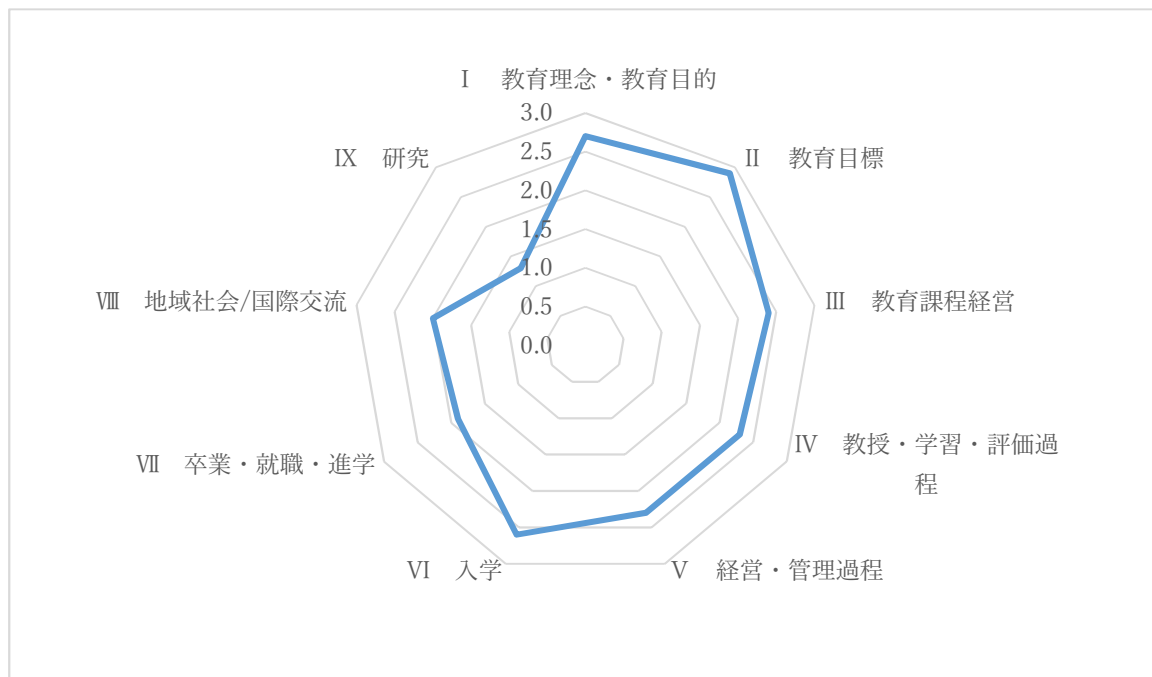
令和 7 年 6 月に、教育水準の向上を図り、本学院の目的及び社会的使命を達成するために、学則第 3 条に基づく、学校運営に関する評価を行いました。評価は、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」*に基づいて、9 カテゴリー125 項目で行いました。

基準を 3 点：あてはまる、2 点：ややあてはまる、1 点：あてはまらない、の 3 段階としました。
結果は下記の通りです。

評価項目	評価の概要	項目数	評価の平均 (四捨五入)
I 教育理念・教育目的	養成所の教育理念・教育目的が、教職員と学生に理解され、卒業時の学生の様子に反映されているか。	11	2.7
II 教育目標	教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか。教職員と学生が目標を理解しているか。	7	2.9
III 教育課程経営	教育理念・教育目的の達成に向けて、教育目標が達成できる一貫した科目構成になっているか。	31	2.4
IV 教授・学習・評価過程	教育理念・教育目的の達成に向けて、講義・実習の内容の精選が行われ計画的に実施・評価されているか。	17	2.3
V 経営・管理過程	将来構想を元に計画的に管理運営しているか。学生生活の支援体制が整っているか。	36	2.3
VI 入学	教育理念に基づいた学生の確保のため、適正な選抜と、実施状況の分析をしているか。	2	2.6
VII 卒業・就職・進学	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているか。	8	1.9
VIII 地域社会/国際交流	地域社会のニーズをふまえた社会貢献ができているか。国際的視野をふまえた教育がされているか。	10	2.0
IX 研究	教員の研究活動の実施状況。研究活動の支援体制が整っているか。	3	1.3
平均			2.3

2003 年「厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針検討会」報告書

「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」〈点検〉(評価内容)一覧



総合評価は平均 2.3 点であり、特に研究の項目が低くなっています。評価方法を前年度より変更していますが、研究への取り組みは、以前より評価点が低く課題として挙げられていました。この点については今後組織として改善していく優先事項として取り組んでいきます。その他の項目でも、卒業・進学・就職に関する項目、地域社会/国際交流の項目が低いため、改善を要します。

〈課題〉

VII 卒業・進学・就職 (1.9 点)

卒業生の状況に関して、積極的に情報把握・分析まで行っていない。今後は、分析することで卒業時の到達目標を含む教育理念や教育目標との整合性について評価していく。

VIII 地域社会/国際交流 (2.0 点)

地域へ貢献する組織として、ボランティア活動への参加、地域のイベントへの参加を行っている。今後も継続して地域ニーズを積極的に把握することに努め、地域内の諸資源を学習・教育活動に取り入れていくことに力を入れる。国際交流に関しては、カリキュラムの中に国際看護の科目を設けているが、その他の取り組みが出来ていない現状がある。卒業後、海外での学習や技術協力を希望する者に対して適切な情報提供ができる体制づくりから始める。

IX 研究 (1.3 点)

研究に関しては、積極的に取り組めていない現状があるため、優先事項として取り組んでいく。